

令和 4 年度

学校関係者評価報告書

令和 5 年 7 月

学校法人朝日学園
成田国際航空専門学校

○令和4年度 学校関係者評価報告書について

成田国際航空専門学校は、「工業分野」の専門課程の認可を受けた専修学校として、わが国の航空産業諸分野の中核を担う優れた人材を育成し社会の発展に寄与することを目的として運営されています。また、平成26年度に文部科学省から「職業実践専門課程」と認定された航空整備学科、およびグランドサポート学科では、航空分野の諸企業との密接な連携のもとに、「学校運営の適正化」および「教育内容の充実」が図られています。

本校では、平成25年4月に定めた「自己点検・評価規程」に従って、学校自己点検・評価委員会を設置し、「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って本校の運営および教育活動について自己点検・評価を実施し、真摯に学校評価に取り組み、現状の把握、課題及び今後の改善策を協議検討してまいりました。

以下、先般開催した学校関係者評価委員会の点検・評価について報告します。

1. 学校関係者評価委員会 実施日時・場所

令和5年6月21日（水） 14：00～16：00

成田国際航空専門学校 1号館 多目的ホール

2. 学校関係者評価実施方法

（1）実施組織：学校関係者評価委員会

○評価委員

久野嘉一	公益社団法人 日本航空技術協会 総務部長
百田 寛	株式会社 JAL エンジニアリング 総務部 組織・人財グループ長
熊谷仁志	株式会社 IHI 航空・宇宙・防衛事業領域 瑞穂工場 武藏総務部主査
足立 知	株式会社 JAL グランドサービス 総務部 人財採用グループ長
中村圭介	株式会社インテックス ランプ事業部 ランプサービス部 課長代理
垣入克己	取手市小堀地区 区長
渡邊幹夫	成田国際航空専門学校 保護者代表
平井 緑	成田国際航空専門学校 保護者代表
菊地智矢	成田国際航空専門学校 卒業生代表

(欠席) 佐々木孝明：多摩川スカイプレシジョン 株式会社 常務取締役

岩澤 拓巳：成田国際航空専門学校 卒業生代表

○学校関係

山本卓二	成田国際航空専門学校 校長
久保嘉孝	成田国際航空専門学校 航空整備学科長
今坂丞太郎	成田国際航空専門学校 グランドサポート学科長
藤井伸一	成田国際航空専門学校 教務課長

（2）評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

（3）評価方法：令和4年度 学校自己点検・評価報告書に対する学校関係者評価

3. 自己評価は、以下の10項目を実施しました。

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価

- (1) 次の4段階(*)をもとに「学校自己点検・評価報告書」の各評価項目の平均点を小数点以下第1位までを評価。
(*) 4段階：適切-4、ほぼ適切-3、やや不適切-2、不適切-1
- (2) 委員会で出された意見や質疑、提案事項を記載。

5. その他

令和4年度 学校自己点検・評価報告書を併せご覧ください。

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価 4. 0

- ・ 学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(2) 学校運営

評価 4. 0

- ・ 学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。
- * 項目外として、学校内でのLGBTQへの取り組み状況に質疑された。
～内容は項目外の為省略。

(3) 教育活動

評価 3. 8

- ・ 評価項目7項、「授業評価の実施・評価体制はあるか」に関して、アンケートを実施しているが、どのような結果となったか?
～アンケート用紙に書かれている設問内容の紹介、各学科・学年のアンケート収集結果につき、設問に対する結果概要の説明、学生からの意見の紹介、学科長からの意見を紹介した。
- ・ その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(4) 学修成果

評価 3. 6

- ・ 評価項目2項、「資格取得率の向上が図られているか」に関して、二等航空運航整備資格が1名合格できなかったことと、危険物の合格者がゼロであったことから、評価を下げたとのことである。今後の方策として危険物資格の取得率を明示したことは良いと考えるが、一般的な合格率はどのくらいか?
～危険物の一般的な合格率は29%と把握している。
- ・ 危険物の合格率に関して2年前までは年々上昇していたが、昨年度低下した要因は?

～教師、カリキュラムは同じなので、問題が変わったか？生徒側の問題か？と考えるが、何とも言えない。

- ・評価項目2項、「資格取得率の向上が図られているか」の危険物資格に関し、授業はいつ頃から、何年生対象に実施しているのか？
～授業は1年生対象で1年間を通して実施している。資格取得試験が12月の為、4月入学から合格に向けて実施している。
- ・その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(5) 学生支援 評価 3. 8

- ・評価項目1項、「進路・就職に関する支援体制は整備されているか」に関し、昨年同時期に息子との就職の話で『整備士コースに在籍していても100%整備士になれるとは限らない』と聞きショックを受けた。その時期に息子はハードルが高いと整備士を諦めかけていたが、先生方の熱心な指導と励ましがあり、整備士への道を挑戦して希望の整備会社に内定をいただきとても感謝している。危険物乙四に関しても熱心な指導があったと聞いています。
- ・その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(6) 教育環境 評価 3. 6

- ・学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(7) 学生の受け入れ募集 評価 4. 0

- ・学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(8) 財務 評価 4. 0

- ・学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(9) 法令等の遵守 評価 3. 6

- ・学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(10) 社会貢献・地域貢献 評価 3. 3

- ・評価項目2項、「学生のボランティア活動を支援しているか」に対し、この地区のイベントは殆どが日曜日に実施している。学生さんに日曜日に依頼することは出来ない。以前取手の花火大会後の清掃を依頼した経緯があるが、近年はコロナ禍で大分縮小して実施していた。

最近線状降水帯が発生し大雨の影響で古利根沼の水位がかなり上昇した。この地区に近い取手の龍ヶ崎市双葉という地区では床上浸水の被害が発生、ここも水に関しては他人事ではないので、防災訓練を検討中。以前この学校の屋上を利用し訓練を実施したが、現在役員を交えて開催の検討をしている。開催となれば、具体的な日程を含めお知らせする。都合が合えば参加願いたい。

～防災訓練は了解した。

以上